

## 平成 27 年度の主な事業報告

社会福祉法人 半田同胞園

## 社会福祉事業

## 1. 法人活動状況

- ・ 利用者のアンケート結果を各施設で重点努力目標として取入れた事業実践を行った
- ・ 公益性の高い委託事業（一時保育・子育て短期事業等）を積極的に受入れ実践した
- ・ 職員へ研修機会を多くし、給料アップ・勤続表彰・腰痛講習等の処遇改善を行った
- ・ 法人役員の研修で半田市の福祉現状を知り、今後の法人の中長期計画をたてた

## 2. 母子生活支援施設の活動報告

- ・ 入所世帯が 23 件と多かったが、施設の生活に合わない世帯の退所もあり年間在籍率 89.2%と昨年よりで 5%ほど減少、児童は半数が学童、後は乳幼児であった
- ・ 生活の安定等での退所も 8 件と増えたが、入所当時の生活や小さい子どもを抱えての生活は依然として厳しい状況。近隣 3 市からの子育て短期支援も 5 件 31 日間と昨年より多く受け入れた。
- ・ 乳幼児の割合が児童の約半数あり、母親育児の補完のための保育（月平均 13 件）や、祝祭日就労時（月平均 17 件）の保育をし、就労支援等を行った
- ・ 職員全体として母と子の気持ちをしっかり聞いて、職員が連携・協力した支援に努めた。その後の利用者アンケートでは、全体的に昨年より良い評価を得た
- ・ 今年も国際交流協会の日本語教室、JA 職員の遊び会、日本福祉大学生の学習会、NPO 法人あったかハウス等のボランティアの方が、利用者への支援に協力頂いた
- ・ 行事招待、食品、菓子、絵本、衣類等、沢山の方よりご寄付等のご支援を頂いた

## 3. 保育所の活動報告

- ・ 261 人定員で今年度平均在籍人数 253.1 人。乳幼児が年度後半は定員いっぱいの状況であった。早朝保育は日平均 32.3 人、延長保育も 104 名が利用し、1・2 歳の利用が多い
- ・ 昨年実施した「保育所評価」の結果を踏まえ、改善すべき点を具体的な形で示すことにより、今年度のアンケートでは概ねよい結果を得た
- ・ 「柳沢運動プログラム」「さくらさくらんぼリズム」を各年齢の発達に合わせて遊びの中に取り入れ、運動会等で成果も発表し、けがも減ってきた
- ・ 消防署員を直接講師に招き、職員が現実的な防災指導を受け子どもの安全を図れた
- ・ 病後児保育が、月 2 名程の利用だが、骨折等の児童の受入れも丁寧に対応できた
- ・ 一時保育受入人数は、年間延べ人数 1,765 人（日平均 6.5 人）で、342 人増えた

## 4. 子育て支援事業「はんだっこ」活動報告

- ・ 半田市より事業の委託を受けて 10 年。今年度も利用者の子育て相談等に応えるために、経験豊富な保育士 2 名を派遣し、園長・主査も助言指導でサポートした
- ・ プレイランドの利用状況は年間 52,705 人（昨年比+517 人）、相談件数は 444 件
- ・ 「リズムで遊ぼう」「お父さんとレッツトライ」と新たな取組みで利用者も増えた。地域の公園等で行う「みんなあつまれ」は、保育園での開催では参加者が多いので今後も地域での開催が必要（保育園の入園に不安等があるため、見学したい）
- ・ 一時預かり利用は、母のリフレッシュ・病院への通院等の理由で 1,682 件（子ども人数 1937 人、うち 0 歳児 184 人、うち小学生 34 人）が利用し、早朝託児が増えた